

2009年度 牧羊者 第Ⅱ巻

中高科へのヒント 7~9月

7/5

●話し合ってみよう

1. 世界で最初の教会が誕生したとき、どんなふうにキリスト者となる人々が起こされたと思いますか。→ 使徒たちの熱心な伝道によります。
2. ペテロが説教した後で、どんなことが起こりましたか。→ 説教を聞いた人々は、深く自らの罪を認めました。
3. ペテロは、伝道したとき人々にどのように接したでしょうか。→ 罪の悔い改めを迫り、洗礼を勧めました。

●考えてみよう

(悔い改めについて考えてみよう)

1. 旧約聖書には、「立ち帰る」という語が多く使われています。これはどういう意味で使われていると思いますか。→ 罪や神への不服従の状態から神に立ち帰る、という意味で。
2. 信仰を告白した者に恵みが表されますが、それは何でしょうか。→ ①過去の罪が赦され、神の前にきよい者とされること。②聖霊が与えられること。

●自分に当てはめよう

1. あなたは聖書の言葉を読んで、あるいは教会で説教を聞いて心を強く刺された（自分の罪が示された）経験がありますか。
2. 私たちに与えられる聖霊の賜物は、どこで確認できるでしょうか。→ 使徒たちの教えを守り、信徒の交わりをし、共にパンをさき（聖餐式に与ること）、祈りをしていること。

7/12

●話し合ってみよう

1. このことは、どんなに頑張っても変わることはできないと考えたことはありませんか。
2. 「美しの門」で施しをこうていた男は40歳あまりの人（4・22）でした。長い間病気だったことによって、彼はどのような状態になっていたでしょうか。→ 施しをこう生活や運ばれて来ることが、あたりまえになっていました。
3. ペテロとヨハネは、この男をじっと見て、「私たちを見なさい」と言いました。この弟子たちのまなざしの中にはどんなことが込められているでしょうか。→ 神のあわれみが注がれるように、信仰が呼び起こされるようにとの願い。

●考えてみよう

1. 6節の言葉について考えてみましょう。①「金銀はわたしには無い」とは、単に金銭のことを言っているのでしょうか。→ いいえ、今から与える神からの贈り物がどれほど価値あるものであるかを強調するための言葉です。②「ナザレのイエスの名によって歩きなさい」との言葉は何を意味していると思いますか。→ イエス様が地上でなされた業が弟子たちによって引き継がれ、押し進められていることと、この男を歩かせる力をお持ちなのはイエス様であること。

●自分に当てはめよう

1. イエス様の御名の力は、私たちにどのような変化をもたらしてくれるでしょうか。あなたはどのように信じますか。

7/19

●話し合ってみよう

1. あなたはイエス様のことを友だちと話したことがありますか。
2. ペテロは「この方による以外に救いはありません」と言いました。「この方」とはイエス様のことです。けれども、多くの人他は他のものに救いを求めているように見えます。それはどんなものだと思いますか。

●考えてみよう

1. 美しの門で生まれつき足のきかない男が癒された後、ペテロが説教しました。それに対する宗教指導者たちの反応はどうだったのでしょうか。→ イエス自身に起こった死人の復活を、ペテロが宣べ伝えているのに気をいら立て、彼らを捕らえ、留置しました。
2. ユダヤ人たちは宣教している弟子たちに、「あなたがたはいったい、なんの根拠、また、だれの名によって、このことをしたのか」と言いました。それはどのような意味で言ったのでしょうか。→ 「われわれはあなたに対して、イエスのことを語る許可は与えていない」という意味で言った。
3. それでは弟子たちは、いったい誰の名によって、誰の許可を得てしていたのでしょうか。→ もちろんイエス様の御名によって、父なる神様の許可を得てのことです。

●自分に当てはめよう

1. あなたにとって、救い主とは誰ですか。

7/26

●話し合ってみよう

1. 16節の「著しいしるし」とは何のことでしょうか。→ 癒し、救われる人が起こされていること。ペテロたちの大胆な証など。
2. ユダヤ人たちはペテロたちに何を言いましたか(17節)。→ 今後イエスの御名で語ってはならない。
3. 上記2.の言葉に対して、ペテロたちは何と答えましたか。→ 「神に従わないであなたがたに従うことが神の前に正しいかどうか考えてください」と言いました。

●考えてみよう

1. 宗教的指導者たちは、ペテロを処罰したいと思いましたが、できませんでした。なぜですか。→ ペテロが病人を癒したことは、律法違反ではなく、民衆も熱烈に使徒たちを支持していたから。
2. 結局、宗教的指導者たちはペテロたちを合法的に禁じることができませんでした。その代わりに何をしましたか。→ 「おどす」こと。
3. 宗教的指導者たちの命じた上記2.を、ペテロたちはどうとらえたのでしょうか。→ 神の命令ではなく、人間の命令ととらえました。だから迷わず神に従う道を選びました。

●自分に当てはめよう

1. 聖霊に満たされた使徒たちは、大胆にイエス様を伝えました。その聖霊に満たされたいと願いますか。

8/2

●話し合ってみよう

1. ペテロとヨハネは、ユダヤ人から釈放されるとどうしたのでしょうか。→ 仲間たちのところに帰りました。
2. 次にペテロとヨハネのしたことは何ですか。→ 祭司長たちや長老たちが言ったことを報告しました。
3. 上記2.の具体的な内容を述べてください。→ ここから神のわざが始まると思ったのに、ユダヤ人たちが敵対してきたこと。伝道を禁止し、イエスの名を使うならば罰すると脅されたこと。

●考えてみよう

1. 使徒たちはこれを聞いて、どうしたでしょう。→ これはすべて詩篇2・1～2のとおりであると、主をほめたたえました。
2. 使徒たちは脅されていますが、大胆に伝道していくことができるように祈りました。普通、脅されたらもう止めようと思いますが、彼らは違いました。苦難があると、そこから逃れられるように祈るのが普通ではないのでしょうか。なぜこの祈りが出来たのでしょうか。→ 使徒たちは、今起こっていることも、神の御手の中にあることを信じ、ひたすら神の御名が崇められ、救われる人が起こされることを願ったのです。

●自分に当てはめよう

1. イエス様をお伝えすることをためらうものが、あなたの心の中にありますか。

8/9

●話し合ってみよう

1. 教会外の人々は、主の弟子たちの群れに対してどう思っていたのでしょうか。→ほかの者たちは、^{だれ}誰一人その交わりに入ろうとはしませんでした。民衆は彼らを尊敬していました。
2. なぜ尊敬していたのに、群れに入ろうとはしなかったのでしょうか。→興味本位では入れないという厳かさを感じたのでしょうか。
3. 14節では、「主を信じて仲間に加わる者が、男女とも、ますます多くなってきた」とあります。この原因は何でしょうか。→12節の「多くのしるしと奇跡とが、次々に使徒たちの手により人々の中で行われた」ため。

●考えてみよう

1. 大祭司とその仲間の者がペテロたちを留置場に入れました。なぜですか。→嫉妬^{しつと}の念に満たされてたから。
2. 捕らえられた弟子たちに、主はどのようにされたのでしょうか。→①主は使いを遣わし、彼らを連れ出されました。②「この命の言葉を漏れなく、人々に語りなさい」と命じられました。
3. この後、弟子たちはどうしたのでしょうか。→夜明け頃、宮において教え始めました。

●自分に当てはめよう

1. 私たちの周りに教会に来たいと願いながらも「興味本位では入れない」と思っている人もいます。そのような人に対して、どうしたらよいのでしょうか。

8/16

●話し合ってみよう

1. 6節にあるように、二千年前のクリスチャンも試練で悩まされていた。今、現代の私たちは、どんな試練で悩んでいるだろうか。
2. イエス様を信じた人には、どのような祝福があると書かれているだろうか。→4、5、7節など。

●考えてみよう

1. 2節の中で、三位一体の神様を探し、それぞれがどのようなお働きをしているかを調べよう。
2. イエス様の再び現れる時（再臨）、それまでの苦しみは何に変えられるのだろうか。→7節。
3. なぜ8節にあるように、イエス様を見ることができないのに喜ぶことができるのだろうか。→9節「信仰の結果なるたましいの救を得ているから」。

●自分に当てはめてみよう

1. 8節にあるように、あなたはどのようにイエス様を愛し、イエス様を喜んでいるだろうか。
2. 3節の「生ける望み」は、イエス様を受け入れた人すべてに与えられているが、あなたにはどのような実感があるだろうか。

8/23

●話し合ってみよう

1. 教会に通っているということで、人にからかわれたり、冷たくされたりしたことはないだろうか。
2. 一緒に悪いことをしないということで、いじめられたことはないだろうか。
3. どういう時、世の終りが近いと感じるか。→凶悪な事件、海外で頻発する紛争、地球温暖化など。

●考えてみよう

1. 世の終りはいつごろだと書かれているだろうか。→7節「近づいている」。
2. 7節の「万物の終りが近づいている」今、どうあるべきと書かれているだろうか。→8、9、10節などをヒントに。

●自分に当てはめてみよう

1. 7節の「万物の終り」の近いことを、あなたは実感しているだろうか。
2. あなたは誰^{だれ}のために祈ろうと心に決めたか（一人か二人だけでもよい）。
3. あなたは神様からどのような賜物をいただいていると思うか。それをどのように使おうと思うか。

8/30

●話し合ってみよう

1. 悪魔が存在することについてどう思うか。悪魔の存在を信じるか。
2. 今、お互いに思いわずらっていること、心配していることは何だろうか、分かち合ってみよう。

●考えてみよう

1. 神様の前に自分の身を低くすることが、なぜ祝福になるのだろうか。→ 6 節を参照。
2. 悪魔に抵抗して打ち勝つ秘訣は何だろうか。→ 8、9、10 節を参照。
3. 一緒に戦ってくれる信仰の友（先生でもよい）がいるだろうか。またその必要を感じているだろうか。
4. なぜ悪魔との戦いに勝利することができるのだろうか。→ 10 節を参照。

●自分に当てはめてみよう

1. あなたは自分の心配ごとを、いっさい神様にゆだねることができるだろうか。できないとしたら、それはなぜだろうか。
2. あなたの周りに癒^{いや}しを必要としている人はいないだろうか。その人には 10 節のみ言葉を用いて祈ってあげてはどうだろうか。

9/6

●話し合ってみよう

1. 9 節の幻の中のマケドニア人は、いったい何を求めているのだろうか。
2. このマケドニア人のように、神様に助けを求めたことがあるだろうか。

●考えてみよう

1. 神様は、なぜパウロにマケドニア人の幻を見せたと思うか（推測でよい）。
2. パウロがこの幻を、どのように解釈したか。→ 10 節。
3. この幻に従ってマケドニア（ギリシャの南部）に渡ったとき、どんなことが起きたか。→ 16・15、33、34 節など。

●自分に当てはめてみよう

1. 伝道のためパウロに働いた御霊は、自分にも働いてくださると信じるか。
2. あなたの周りに、救いを求めていそうな人は見当たるだろうか。
3. 神様はあなたに、何をチャレンジしておられると思うか。

9/13

●話し合ってみよう

1. 主が心を開かれるとはどういうことだろうか。また、そういう経験があるだろうか。
2. パウロたちはどのような場所で伝道したか。またそれはなぜか。

●考えてみよう

1. 14 節の、「神を敬う」人とは、どのような人物だろうか。→ ユダヤ教に改宗した異邦人。現代で言えば、クリスチャンではないが、神様を真剣に求めている人。
2. このときイエス様を信じたのはルデヤだけだったか。
3. 自分の言葉とテクニックで人を救いに導けると思うか。

●自分に当てはめてみよう

1. あなたの周りに、ルデヤのような隠れた求道者はいないだろうか。
2. 救われて欲しいと願っている人の心が開かれるように、具体的に祈ってみてはどうだろうか。
3. 礼拝のメッセージを聞く時、聖書を読む時、自分の心が開かれるように祈ってみてはどうだろうか。

9/20

●話し合ってみよう

1. 25節で、なぜパウロとシラスは、牢屋ろうやの中で声を出して祈り、賛美を歌い続けることができたのだろうか。
2. 29節で、なぜ獄吏はパウロとシラスの前にひれ伏したのだろうか。

●考えてみよう

1. パウロとシラスは無実の罪で投獄された時、どのような心境だったと思うか。
2. 26節で大地震が起きるが、これは偶然だろうか。
3. なぜ囚人たちは逃げ出さなかったのだろうか。
4. 31節で、イエス様を信じると、どんなことが起きると言っているか。二つあげてみよう。

●自分に当てはめてみよう

1. 牢屋に入れられたパウロたちのように、ピンチに陥った時、祈ったり賛美したりできるだろうか。
2. あなたの家族も、やがて必ず救われると信じるか。
3. そのために何をしたらよいと思うか。二つ以上あげてみよう。

9/27

●話し合ってみよう

1. イエス様のこと、聖書や教会のことを伝えたり、恵みを証しようとしたりするとき、恐れを感じることがあるか。
2. そのような時、主が共におられることを実感することがあるか。

●考えてみよう

1. 5節で、パウロはユダヤ人に何を伝えたのだろうか。
2. 8節の、「会堂司」とはどのような仕事だろうか。→「会堂の維持管理」だけでなく、「礼拝の指導、異端の追放」なども行った。
3. そのクリスボが主を信じたら、どんなことが起きたか。二つあげてみよう。

●自分に当てはめてみよう

1. あなたの町にも、「わたしの民」（やがてイエス様を信じる人々）が大勢いることを信じるか。
2. 現代でも、コリントで起きたようなことが起きると信じるか。
3. イエス様のことを伝えようとする時、イエス様はどこにおられるだろうか。→ 10節
4. あなたは、どのようにイエス様を伝えようと思うか。